

インフルエンザ

NO. 14



インフルエンザは流行性疾患

例年11月～4月に流行します。

乳幼児から高齢者まで巻き込みます。

(1997年～1998年には大流行がありました)



◆インフルエンザとは????

インフルエンザはA型またはB型インフルエンザウイルスが呼吸器に感染することによって起きます。(C型もありますが流行しない)

<症状>

感染後1～2日の潜伏期

突然39度前後の発熱、悪寒、頭痛、全身倦怠感、関節痛、筋肉痛、腰痛などの強い全身症状を示すことが特徴です。

インフルエンザは他のかぜに比べて危険な病気です。

慢性疾患をもつ患者さんや高齢者などはインフルエンザに罹ると、入院をするような気管支炎や肺炎な



インフルエンザは普通の風邪と違います

<インフルエンザの種類>

A型、B型、C型、鳥インフルエンザ(H5N1)などがありますが

現在(人)の世界で流行している型は

A/ソ連型ウイルス(H1N1亜型)

A/香港型ウイルス(H3N2亜型)

B型ウイルスです。

★ 抗原性の違う2種類のA型とB型のウイルスが、同じ時期に流行する場合がありますので、A型インフルエンザにかかったあとB型インフルエンザにかかることもあります。



- ★ 流行前にインフルエンザワクチンを接種する(0.5mlを皮下に、1回又はおよそ1～4週間の間隔をおいて2回注射します)
- ★ 適度な湿度(加湿器などを使って湿度を50～60%に保ったり、外出時はマスクを使用)を保つ
- ★ 人混みを避ける(特に高齢者や慢性疾患をお持ちの方、寝不足や疲れている方)
- ★ 帰宅後はうがいや手洗いを必ず励行しましょう。



- ◆ インフルエンザワクチン接種は重症化防止や死亡を防止し、被害を少なくするためのものです。



インフルエンザワクチン

●今年(20年度)のワクチンの有効成分

A型株

A/ブリスベン/59/2007(H1N1)株(Aソ連型)

A/ウルグアイ/716/2007(H3N2)(A香港型)

B型株

B/フロリダ/4/2006株です。

▼一般的なインフルエンザワクチンの効力

予防接種を受けてから2週間位で効果がでます。

効果期間は5ヶ月位と言われています。

インフルエンザ流行期間は12月下旬～3月上旬が中心です。12月上旬までにはインフルエンザワクチンの接種をすまされると良いでしょう。

(65歳以上の方は助成金があります)

<インフルエンザの迅速診断>

当病院では何型(A型?B型?)のインフルエンザに罹っているかを迅速に判定する検査を行っています。

(15分位で判定できます)

抗原抗体反応を利用したもので、鼻又はのどの粘膜を採取しておこないます。

発病後48時間以内に検査を行えば、診断率が高くなります。(検体中の妨害物質やウイルス量が少なかった場合等には陰性と判定されることもあります。)